

2 本場奄美大島紬ができるまで¹⁾

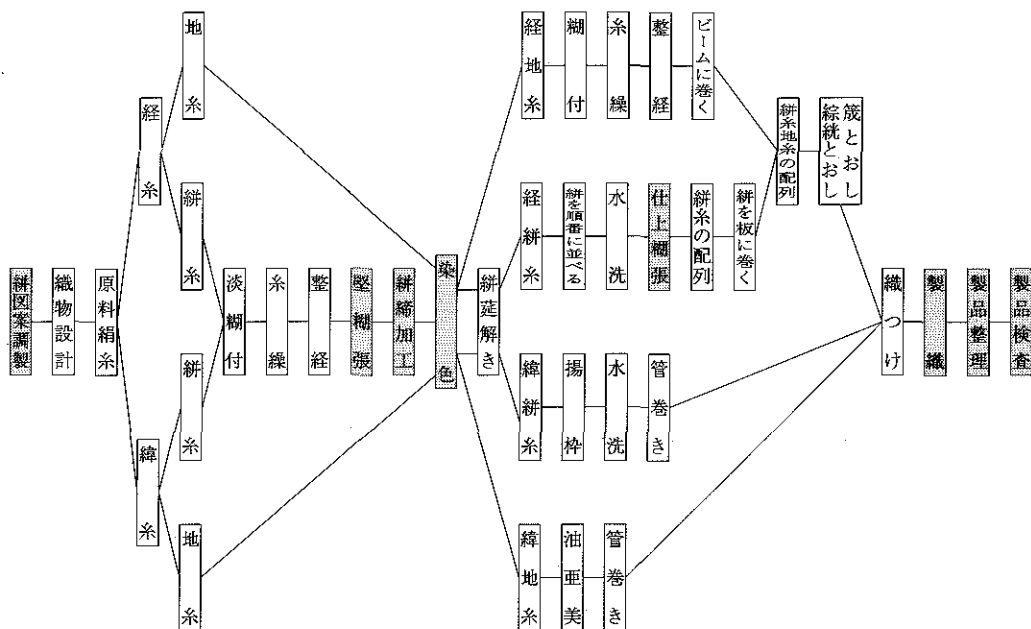
本場奄美大島紬ができるまでには、次のような工程があります。

〈意匠デザイン〉 → 〈糊張り〉 → 〈緋締め〉 → 〈染色〉 → 〈仕上げ加工〉 →

〈製織〉 → 〈製品検査〉

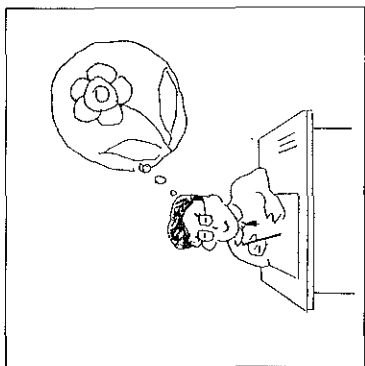
まず、織物の意匠デザインを決め、必要量の絹糸に対して締め織りを容易にし防染効果を高めるために絹糸に糊張りをします。そして、デザインに合わせて、染めない部分を絹糸で締め付けてから（緋締め）、染色します。その後、緋筵の部分解きを行って、そこを摺り込み染色、番組み、板巻きなど染色した絹糸の仕上げ加工を行って、製織します。そして、多項目にわたる製品検査を経て合格品が出荷されます。これら一連の工程には数カ月を要するような大変手の込んだ熟練を要する技術が施されて高級織物が完成されます。以下、各工程を順次説明いたします。

本場奄美大島紬製造工程表

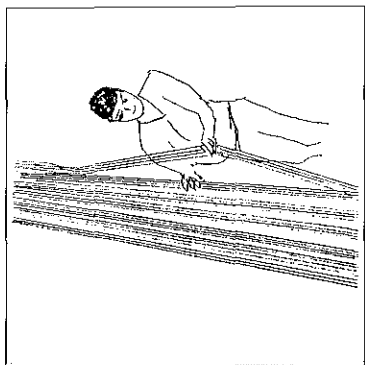


本場奄美大島紬ができるまで

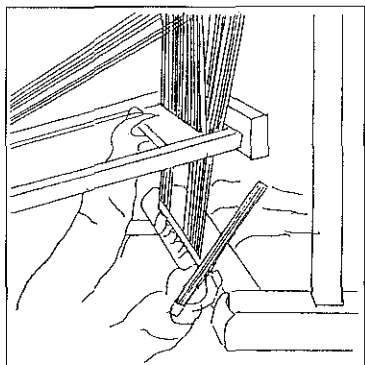
絆デザイン調整



のり張り



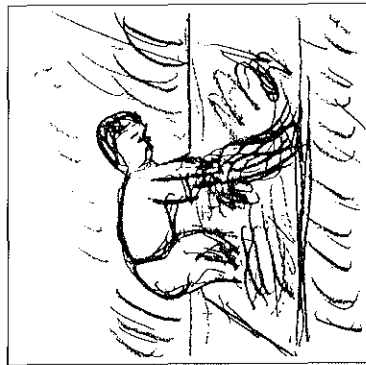
織り締め



しゃりんばい染色



どろ染め



製織

